

## 支所廃止問題について



井上 勝博

**質問** 薩摩川内市行政改革推進委員会は、「現行の支所を廃止」「地区コミュニティ協議会単位に市職員の「センター」を設置するという提言を発表した。「支所廃止」という方針は合併協定のときの約束を破るものだ。市長の見解を求めます。

**答弁** 支所のあり方について行政改革推進委員会に口頭で諮問した委員の中には、支所は廃止すべきではないという方や段階的にといく方、一方では当然見直していくべきではないかという意見があり、行政改革推進委員会では、全会一致というまとめはできなかった。このため、期限を示さず将来に向かって検討すべきひとつの考え方を示していただいた。非常に大事な問題であるので、次の新しい議会や市長のもとで、住民の皆様ともディスカッションしながら検討していただきたいと考えている。協定違反ではないかとのことであるが、地方自治法や地方財政法では、常に行政の効率化や適正化、

財政の健全な運営を図らなければならぬことがうたわれており、決定した方針が未来永劫続くとは限らない。研究・検討は必要なことである。

高江インター周辺への  
サービスエリア的な  
「道の駅」設置について

樗木 孝治

**質問** 高江地区では南九州西回り自動車道高江インター開通を見越した五〇〇戸定住促進を進めている。「鹿児島までおよそ三十分」を謳い文句に住み良い街・住みたいい街・高江を目指し地区民総がかりで取り組んでいる、そのためには環境整備が必要である。地産品直売所を含めた売店、レストラン、ガソリンスタンド等備えた複合商業施設としての「道の駅」設置はできないか。

**答弁** サービスエリアについては、国土交通省鹿児島国道事務所と協議したが、設置は考えていないとのことであった。また、高江インターより数キロしか離れていない久見崎のハマボウが自生している

周辺の公園整備にあわせ物産販売所等の整備を考えているため「道の駅」設置は難しい状況である。今後、国庫補助金等利用できないか、民間の御協力をいただき設置できないか、土地の確保をどうするか検討していく必要がある。

「行政改革推進委員会」の支所  
廃止提言について

江口 是彦

**質問** ①現行の支所を廃止して、市職員が勤務するセンターを設置するとの提言をどのように受けとめ、どう具体化していくのか。また、支所は単に役所の仕事をするところではなく、地域にとつては非常に大切なところである。支所のあり方については慎重に検討してもらいたい。②離島振興法を根拠に、甌島の活性化や振興を担当する部署として、「甌島振興部(局)」の設置が必要と思うがどうか。

**答弁** ①支所を廃止してセンター的なものを設置していくとすれば、その機能は市民サービスを低下させないようなものであるのか、果たしてそのようにできるのか、今

後、慎重に、あらゆる角度から、十分時間をかけて検討していく必要がある。②提言の中で記述しているとおり、防災対策を含め、教育、福祉、医療等一つの総合的な甌島振興課なり局なりつくる必要があるのではないかと考えるので、次期市長に引き継ぎたい。

行政改革推進委員会の答申  
と対応について

大田黒 博

**質問** 七月三十日南日本新聞が「薩摩川内市行革委、地区コミ単位に『センター』、支所廃止前提に提言へ」と報道し、大きな関心を示している。市長はこの委員会からの最終答申(提言)の内容をどのように受け止めているのか。また、次期市長への事務引継書にどのような記載するのか。各支所が活力を持ち継続する事は本市に取って大きな力である。

**答弁** 今回の提言は、支所のあり方についてこういう方法もあるという問題提起であることを御理解いただきたい。また、法定合併協議会で決定した新市まちづくり計